

## 国際課活動レポート

### ◆スペイン・ガリシア州青少年代表団来県

(7月4日～11日)

スペイン・ガリシア州の青少年代表団（15名）が一週間の日程で和歌山を訪れました。ともに世界遺産である熊野古道とスペイン・ガリシア州のサンティアゴ巡礼道は、世界でも例を見ない姉妹道提携をしており、2010年より相互青少年交流を行っています。今回は熊野古道を歩き、熊野本宮大社を参拝した他、和歌山大学での意見交換会、皇林高校有志による和歌山城見学、熊野高校空手部での体験入門、ホームステイなどを経験しました。来年3月には和歌山代表団をガリシア州へ派遣する予定です。



### ◆アジア最大級の書籍見本市香港ブックフェア2016に出展！ (7月20日～7月26日)

香港貿易発展局が主催する香港ブックフェアに和歌山県のブースを出展しました。書籍やコンテンツを切り口に来場者に対して和歌山県の観光PRを実施し、和歌山の数々の魅力を知ってもらうことができました。

### ◆南加・メキシコ・ペルー和歌山県人会員の来県

和歌山県は全国で6番目に多くの海外移住者を送り出した移民県です。世界14カ所に当県出身者が県人会を設立し、様々な活動を行っています。7月には、南加（ロサンゼルス）、メキシコ和歌山県人会から2名ずつ、ペルー和歌山県人会からは会長・副会長を含め17名が来県しました。

### ◆駐日ブルキナファソ大使及び西アフリカ野球チーム来県 (7月26日～31日)

ブルキナファソを中心とする西アフリカの国から選抜された選手からなる西アフリカ野球チームが来県しました。この事業は、野球を通じてアフリカの子供たちを育成することを目的として行われています。今年、田辺市を拠点に活動する野球独立リーグの「和歌山ファイティングバーズ」が設立されたこともきっかけとなり、選手を日本に招聘し、交流試合を行っている団体が、プロジェクトの一環として和歌山に招待しました。田辺スポーツパークや上富田スポーツセンターで、地元の野球経験者やプロ野球OBチームなどと交流試合を行いました。

